

junii2 ガイドライン

バージョン 1.0

国立情報学研究所 学術コンテンツ運営・連携本部
図書館連携作業部会 (IR システム検討 WG)

2010 年 3 月

目次

はじめに	1
junii2 ガイドラインとは	1
junii2 とは	1
junii2 各データ要素の説明	2
説明の見方	2
1. タイトル	3
2. その他（別言語等）のタイトル	3
3. 作成者	4
4. 著者キーワード	5
5. 国立情報学研究所メタデータ主題語彙集	6
6. 日本十進分類法	6
7. 国立国会図書館分類表	7
8. 日本件名標目表	7
9. 国立国会図書館件名標目表	8
10. 医学件名標目表	8
11. デューイ十進分類表	8
12. 米国議会図書館分類表	8
13. 国際十進分類表	9
14. 米国議会図書館件名標目表	9
15. 内容記述	9
16. 公開者	10
17. 寄与者	10
18. 日付	11
19. 資源タイプ	11
20. 国立情報学研究所メタデータ主題語彙集（資源タイプ）	12
21. フォーマット	12
22. その他の資源識別子	13
23. 資源識別子 URI（アイテム表示画面へのリンク）	13
24. 本文フルテキストへのリンク	14
25. ISSN	14
26. 書誌レコード ID（総合目録 DB）	15
27. 雑誌名	15
28. 巻	16
29. 号	17
30. 開始ページ	17
31. 終了ページ	18
32. 刊行年月	18

33. 情報源	19
34. 言語	19
35. 他の情報源との関係.....	20
36. PubMed 番号.....	20
37. DOI.....	21
38. 異版である	22
39. 異版あり	22
40. 置換される	23
41. 置換する.....	23
42. 要件とされる.....	23
43. 要件とする	23
44. 部分である	24
45. 部分を持つ.....	24
46. 参照される	24
47. 参照する.....	24
48. 別フォーマットである	25
49. 別フォーマットあり.....	25
50. 範囲	25
51. 空間的範囲	26
52. 国立情報学研究所メタデータ主題語彙集（地域）	26
53. 時間的範囲	26
54. 国立情報学研究所メタデータ主題語彙集（時代）	26
55. 権利	27
56. 著者版フラグ.....	27
付属書.....	29
国立情報学研究所メタデータ主題語彙集（資源タイプ）	29
検討メンバー	30

はじめに

junii2 ガイドラインとは

「junii2 ガイドライン」とは、junii2 メタデータフォーマットの各データ要素の説明と使用例を示したものである。

◆ junii2 ガイドラインの目的

国立情報学研究所（NII）では、機関リポジトリのメタデータについて、NII のサービス基盤を効果的に使っていただくにあたっての課題解決を目標として、平成 21 年 7 月に学術コンテンツ運営・連携本部図書館連携作業部会の下に設置された WG2（IR システム検討 WG）において、メタデータの junii2 の各データ要素の説明と使用例を提示した「junii2 ガイドライン」を作成した。

JAIRO、CiNii 等、NII のサービス基盤を効果的に使用したい場合は、本ガイドラインに準拠することを推奨する。

◆ junii2 ガイドラインの位置づけ

本ガイドラインは、junii2 メタデータフォーマットの項目説明と使用例を示したものである。各機関リポジトリにメタデータを入力する際の「データ入力マニュアル」ではない点を了解いただきたい。なお、各機関リポジトリでの入力方法については、NII ポータル研修や他で開催されたりリポジトリ関係ワークショップの資料などが参考になる。

junii2 とは

junii2 とは、NII が 2006 年秋に公開した、ローカルリポジトリのメタデータをより高次のサービスで活用することを目的とした、NII が各リポジトリからハーベストするためのメタデータフォーマットである。

<http://www.nii.ac.jp/irp/archive/system/junii2.html>

国内の多くの機関リポジトリが junii2 でのハーベストに対応しており、NII では 2010 年 2 月末現在、145 機関から junii2 フォーマットでメタデータをハーベストし、以下のサービスを提供している。

※JAIRO：学術機関リポジトリポータル

<http://jairo.nii.ac.jp/>

※IRDB コンテンツ分析システム

<http://irdb.nii.ac.jp/analysis/index.php>

junii2 各データ要素の説明

説明の見方

本ガイドラインでは、要素（element）ごとに、使用方法と使用例を示す。

要素名	:	要素（element）の名称。
使用レベル	:	必須 …… 必ず使用する。 あれば必須 …… コンテンツに関する情報があれば、必ず使用する。 推奨 …… コンテンツに関する情報があれば、使用することが望ましい。 任意 …… 使用は任意である。
繰り返し	:	繰り返し可能な回数。
スキーム	:	定義された書式。ない場合は文字列。
oai_dc	:	oai_dc にダムダウンさせるときの行き先。
説明	:	使用方法の説明。
注意点	:	特に注意すべき点。
推奨例	:	推奨する使用例。
許容例	:	当分は許容する使用例。
非推奨例	:	推奨しない使用例。
クロスウォーク例	:	ローカルメタデータとのクロスウォーク例。

なお、ガイドライン中の「△」は「半角スペース」を表す。

1. タイトル

要素名	title
使用レベル	必須
繰り返し	1
スキーム	—
oai_dc	title
説明	コンテンツを表すタイトルを記入する。論文における論文名である。 コンテンツ本文と同じ言語を用いることを基本とする。
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・要素を繰り返すことは出来ない。 ・別言語のタイトルやタイトルのヨミは「2.alternative」を使用する。 ・掲載誌名は「27.jtitle」を使用する。
推奨例	<p><title>情報爆発時代の研究基盤構想：データマイニング、次世代サーチなどの研究</title> コンテンツが日本語論文の場合。</p> <hr/> <p><title>Linking service to open access repositories</title> コンテンツが英語論文の場合。</p>
非推奨例	<p><title>富士山東麓湧水群における地下水環境と細菌の分布 = Distribution of bacteria in subsurface environment in east foot of Mt. Fuji</title> 別言語のタイトルは「2.alternative」を使用する。</p> <hr/> <p><title>NII の概要（日本病院会雑誌）</title> 掲載誌名は「27.jtitle」を使用する。</p> <hr/> <p><title>レポート作成におけるコピペ防止策</title> <title>コピペを超えるライティング授業デザイン</title> 要素を繰り返すことは出来ない。</p>

2. その他（別言語等）のタイトル

要素名	alternative
使用レベル	別言語のタイトルは推奨、タイトルのヨミは任意
繰り返し	0 ～ 無制限
スキーム	—
oai_dc	title
説明	<p>別言語のタイトルやタイトルのヨミを記入する。 別言語のタイトルは、本文と異なる言語のタイトルを記入する。 タイトルのヨミは、全角カタカナを用いて分かち書きで記入する。 その他、「1.title」の異なる表記形を記入できる。 記入方法は「1.title」に準じる。</p>

クロスウォーク例

IR のローカルデータ	junii2 出力データ
例 1) → title: パレートのイデオロギー論 title.alternative: Pareto's analysis of Ideology in A Treatise on General Sociology title.transcription: パレート ノ イデオロギー ロン	<pre><title>パレートのイデオロギー論</title> <alternative>Pareto's analysis of Ideology in A Treatise on General Sociology</alternative> <alternative>パレート ノ イデオロギーロン </alternative></pre> <p>※タイトルを<title>に出力し、別言語タイトルや タイトルのヨミは<alternative>に出力する。</p>

3. 作成者

要素名	creator
使用レベル	あれば必須
繰り返し	0 ~ 無制限
スキーム	姓,△名 (個人名の場合)
oai_dc	creator
説明	<p>コンテンツ内容の作成に責任を持つ個人または団体等を記入する。</p> <p>個人名について、「姓,△名」とする。肩書き等は記入しない。</p> <p>団体名等について、組織階層がある場合は上位から下位の順に記入する。</p> <p><u>1 作成者について、出力する表記形は 1 つのみで、同一作成者の異表記形を出力しない。</u></p> <p>本文が和文ならば日本語表記、欧文ならば英語表記を出力することを基本とする。英語表記のファーストネームが分からない場合は頭文字でもよい。</p>
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作成者の所属は記入しない。 ・ 役割や補記は記入しない。 ・ 監修者、指導者、協力者など間接的な役割の者は「17.contributor」を使用する。 ・ 出版者は「16.publisher」を使用する。
推奨例	<pre><creator>中村, 広明</creator></pre> <p>和文単著の場合。</p> <hr/> <pre><creator>Suzuki, Shigeaki</creator></pre> <pre><creator>Evans, J.H.</creator></pre> <p>欧文共著の場合。ファーストネームが分からない場合は頭文字でもよい。</p> <hr/> <pre><creator>Chiba University Library</creator></pre> <p>団体名の場合。</p>
非推奨例	<pre><creator>YASUDATakeshi</creator></pre> <p>姓名の間を「,△」で区切る。</p> <hr/> <pre><creator>T., Yamada</creator></pre> <p>姓名を逆順に記入しない。</p>

	<pre><creator>木田, 元 / 品川, 和彦</creator></pre> <p>1 要素に複数の作成者を記入しない。</p>
	<pre><creator>国情, 太郎 Kokujo, Taro コクジョウ, タロウ</creator></pre> <p>1 要素に作成者のヨミや別言語表記形を記入しない。</p>
	<pre><creator>西田, 龍雄</creator></pre> <pre><creator>Nishida, Tatsuo</creator></pre> <pre><creator>ニシダ, タツオ</creator></pre> <p>同一作成者のヨミや別言語表記などの異表記形を出力しない。</p>
	<pre><creator>中川, 正夫編著</creator></pre> <pre><creator>情報, 次郎 (〇〇大学)</creator></pre> <pre><creator>新井, 英子 [ほか]</creator></pre> <p>作成者名以外の役割、所属や補記を記入しない。</p>

クロスウォーク例	
IR のローカルデータ	junii2 出力データ
<p>例 1) →</p> <pre>creator: 本日, 太郎</pre> <pre>creator: 昨日, 次郎</pre> <pre>creator.alternative: Honjitsu, Taro</pre> <pre>creator.alternative: Kino, Jiro</pre>	<pre><creator>本日, 太郎</creator></pre> <pre><creator>昨日, 次郎</creator></pre> <p>※同一作成者が重複しないように、junii2 では異表記形を出力しない。</p>
<p>例 2) →</p> <pre>contributor.author: 本日, 次郎</pre> <pre>contributor.author: 昨日, 次郎</pre> <pre>contributor.alternative: Honjitsu, Taro</pre> <pre>contributor.alternative: Kino, Jiro</pre> <pre>contributor.transcription: ホンジツ, タロウ</pre> <pre>contributor.transcription: キノウ, ジロウ</pre> <p>(DSpace はローカルデータで作成者に「contributor」要素を用いている場合がある)</p>	<pre><creator>本日, 太郎</creator></pre> <pre><creator>昨日, 次郎</creator></pre> <p>※同一作成者が重複しないように、junii2 では異表記形を出力しない。</p>

4. 著者キーワード

要素名	subject
使用レベル	任意
繰り返し	0 ~ 無制限
スキーム	—
oai_dc	subject
説明	コンテンツの主題について、コンテンツに記載されているキーワードを記入する。

	「5.NIIsubject」～「14.LCSH」に該当しない分類，件名標目等のスキームを用いることができる。 「5.NIIsubject」～「14.LCSH」に該当するときは、ここに記入しない。
--	--

5. 国立情報学研究所メタデータ主題語彙集

要素名	NIIsubject
使用レベル	任意
繰り返し	0 ～ 無制限
スキーム	国立情報学研究所メタデータ主題語彙集 http://www.nii.ac.jp/metadata/manual/NII-category.pdf
oai_dc	subject
説明	コンテンツの主題について、国立情報学研究所メタデータ主題語彙集を用いて記入する。 国立情報学研究所メタデータ地理語彙集，時代語彙集は、それぞれ「52.NIIspatial」「54.NIItemporal」を使用する。

6. 日本十進分類法

要素名	NDC
使用レベル	推奨
繰り返し	0 ～ 無制限
スキーム	日本十進分類法(NDC) http://www.jla.or.jp/bunrui/index.html
oai_dc	subject
説明	記入することが望ましい。 コンテンツの主題について、日本十進分類表(NDC)を用いて記入する。 少なくとも第3次区分表（要目表）または第2次区分表（綱目表）まで記入することを推奨するが、第1次区分表（類目表）のみの記入も当分の間許容する。
注意点	<ul style="list-style-type: none"> 項目名を記入しない。 日本十進分類表(NDC)以外を記入しない。
推奨例	<NDC>54</NDC> 綱目を記入。 ----- <NDC>361</NDC> 要目を記入。 ----- <NDC>453.3</NDC> 細目までを記入。 ----- <NDC>538</NDC> <NDC>687</NDC>

	複数付与する場合は要素を繰り返す。
許容例	<NDC>9</NDC> 類目のみを使用して記入。
非推奨例	<NDC>132: 中世哲学</NDC> 項目名を記入しない。
	<NDC>NDC9:835.1</NDC> 分類表の種類を記入しない。
	<NDC>464.5 / 439.8</NDC> 1要素に複数の分類を記入しない。
	<NDC> 3 1 4 . 2</NDC> 全角文字を使用しない。

クロスウォーク例	
IR のローカルデータ	junii2 出力データ
例 1) → subject.ndc: 685	<NDC>685</NDC>
例 2) → subject.ndc8: 007.3 subject.ndc9: 007.35	<NDC>007.3</NDC> <NDC>007.35</NDC>
例 3) → subject.ndc: 524:建築構造	<NDC>524</NDC> ※分類のみを出力し、項目名などの他の情報は出力しない。

7. 国立国会図書館分類表

要素名	NDLC
使用レベル	任意
繰り返し	0 ～ 無制限
スキーム	国立国会図書館分類表(NDLC) http://ndl.go.jp/jp/library/data/ndl_ndlc.html
oai_dc	subject
説明	コンテンツの主題について、国立国会図書館分類表(NDLC)を用いて記入する。

8. 日本件名標目表

要素名	BSH
使用レベル	任意
繰り返し	0 ～ 無制限

スキーム	日本件名標目表(BSH) http://www.jla.or.jp/bsh/index.html
oai_dc	subject
説明	コンテンツの主題について、日本件名標目表(BSH)を用いて記入する。

9. 国立国会図書館件名標目表

要素名	NDLSH
使用レベル	任意
繰り返し	0 ～ 無制限
スキーム	国立国会図書館件名標目表(NDLSH) http://ndl.go.jp/jp/library/data/ndl_ndlsh.html
oai_dc	subject
説明	コンテンツの主題について、国立国会図書館件名標目表(NDLSH)を用いて記入する。

10. 医学件名標目表

要素名	MeSH
使用レベル	任意
繰り返し	0 ～ 無制限
スキーム	医学件名標目表(MeSH) http://www.nlm.nih.gov/mesh/meshhome.html
oai_dc	subject
説明	コンテンツの主題について、医学件名標目表(MeSH)を用いて記入する。

11. デューイ十進分類表

要素名	DDC
使用レベル	任意
繰り返し	0 ～ 無制限
スキーム	デューイ十進分類表(DDC) http://www.oclc.org/dewey/
oai_dc	subject
説明	コンテンツの主題について、デューイ十進分類表(DDC)を用いて記入する。

12. 米国議会図書館分類表

要素名	LCC
使用レベル	任意

繰り返し	0 ～ 無制限
スキーム	米国議会図書館分類表(LCC) http://www.loc.gov/catdir/cpsolcco/
oai_dc	subject
説明	コンテンツの主題について、米国議会図書館分類表(LCC)を用いて記入する。

13. 国際十進分類表

要素名	UDC
使用レベル	任意
繰り返し	0 ～ 無制限
スキーム	国際十進分類表(UDC) http://www.udcc.org/
oai_dc	subject
説明	コンテンツの主題について、国際十進分類表(UDC)を用いて記入する。

14. 米国議会図書館件名標目表

要素名	LCSH
使用レベル	任意
繰り返し	0 ～ 無制限
スキーム	米国議会図書館件名標目表(LCSH) http://www.loc.gov/cds/lcsh.html
oai_dc	subject
説明	コンテンツの主題について、米国議会図書館件名標目表(LCSH)を用いて記入する。

15. 内容記述

要素名	description
使用レベル	推奨
繰り返し	0 ～ 無制限
スキーム	—
oai_dc	description
説明	論文においては抄録を記入する。 学位論文にあつては、授与年度、論文/課程の種別等 会議発表論文にあつては、会議名、開催地、日時等 その他コンテンツの内容を示すことを記述できる。 「description.provenance」等のシステム内部用メタデータを出力しない。

16. 公開者

要素名	publisher
使用レベル	推奨
繰り返し	0 ~ 無制限
スキーム	—
oai_dc	publisher
説明	コンテンツ本体を公開した個人または団体等で、出版物における出版者である。 団体名等について、組織階層がある場合は上位から下位の順に記述する。 個人名について、「姓,△名」とする。肩書き等は記入しない。 1 公開者について、出力する表記形は 1 つのみで、同一公開者の異表記形を出力しない。
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作成者の所属ではない。 ・ 役割や補記を記入しない。 ・ 出版地ではない。出版日付は「32.dateofissued」を使用する。
推奨例	<p><publisher>Elsevier</publisher> 出版社（英語論文）の場合。</p> <p>-----</p> <p><publisher>日本物理学会</publisher> 学協会（日本語論文）の場合。</p> <p>-----</p> <p><publisher>Hokkaido University. Faculty of Agriculture</publisher> 欧文の大学出版物の場合。</p>
非推奨例	<p><publisher>国情大学工学部</publisher> <publisher>国情大学情報学部</publisher> 作成者の所属ではない。</p> <p>-----</p> <p><publisher>東京</publisher> 出版地ではない。</p> <p>-----</p> <p><publisher>岡倉印刷</publisher> 印刷者や製本者は記入しない。</p>

クロスウォーク例	
IR のローカルデータ	junii2 出力データ
例 1) → publisher: 日本建築学会 publisher.alternative: Architectural Institute of Japan	<publisher>日本建築学会</publisher> ※junii2 では異表記形を繰り返し出力しない。

17. 寄与者

要素名	contributor
使用レベル	任意

繰り返し	0 ～ 無制限
スキーム	姓,△名 (個人名の場合)
oai_dc	contributor
説明	<p>コンテンツ内容の作成に関わりを持つ個人または団体等を記入する。</p> <p>個人名について、「姓,△名」とする。肩書き等は記入しない。</p> <p>団体名等について、組織階層がある場合は上位から下位の順に記入する。</p> <p>1 寄与者について、出力する表記形は 1 つのみで、同一寄与者の異表記形を出力しない。</p> <p>本文が和文ならば日本語表記、欧文ならば英語表記を出力することを基本とする。英語表記のファーストネームが分からない場合は頭文字でもよい。</p>
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 著者、訳者など直接的な役割の者は「3.creator」を使用する。 ・ 「3.creator」の異表記形ではない。 ・ 論文の査読委員、審査委員などは記入しない。 ・ 役割や補記を記入しない。 ・ 出版者は「16.publisher」を使用する。
推奨例	表記方法は「3.creator」に準ずる。

18. 日付

要素名	date
使用レベル	任意
繰り返し	0 ～ 無制限
スキーム	ISO-8601 で規定する次の 3 形式 (YYYY-MM-DD, YYYY-MM, YYYY)
oai_dc	date
説明	<p>コンテンツの作成日付を ISO-8601 で規定する (YYYY-MM-DD, YYYY-MM, YYYY) のいずれかの形式で記入する。</p>
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ W3C-DTF 形式以外の記入はしない。 ・ 出版日付は「32.dateofissued」を利用する。

19. 資源タイプ

要素名	type
使用レベル	任意
繰り返し	0 ～ 無制限
スキーム	—
oai_dc	type
説明	<p>コンテンツの資料種別等を記入する。</p> <p>所定のスキームによって記入することが望ましい。</p> <p>ファイル形式は「21.format」を使用する。</p>

20. 国立情報学研究所メタデータ主題語彙集（資源タイプ）

要素名	NIIttype
使用レベル	必須
繰り返し	1
スキーム	国立情報学研究所メタデータ主題語彙集（資源タイプ） <u>（本ガイドラインの付属書参照）</u>
oai_dc	type
説明	コンテンツの資料種別等について、「国立情報学研究所メタデータ主題語彙集（資源タイプ）」を用いて記入する。 この要素を繰り返すことは出来ない。「国立情報学研究所メタデータ主題語彙集（資源タイプ）」以外の資源タイプは、「19.type」を使用する。
注意点	「博士論文要旨」の場合は、「Thesis or Dissertation（学位論文）」を使用する。大学発行紀要等に掲載されている博士論文要旨も同様。

21. フォーマット

要素名	format
使用レベル	推奨
繰り返し	0 ～ 無制限
スキーム	Internet media type http://www.iana.org/assignments/media-types/
oai_dc	format
説明	記入することが望ましい。 コンテンツのファイル形式を Internet media type で記入する。 IANA に登録されている MIME メディアタイプから選択することを推奨する。 コンテンツが複数の異なるファイル形式からなるときは、要素を繰り返して記入することができる。
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ページ数やスライド枚数等のコンテンツの数量や大きさではない。 資源タイプは「19.type」を使用する。
推奨例	<pre><format>application/pdf</format></pre> <p>コンテンツが PDF ファイル。</p> <hr/> <pre><format>application/pdf</format></pre> <pre><format>application/msword</format></pre> <p>コンテンツが PDF, WORD の複数ファイルからなる。</p> <hr/> <pre><format>application/zip</format></pre> <p>アーカイブファイルのとき、展開後のファイル形式は記入しない。</p>
非推奨例	<pre><format>12p（スライド 48 枚）</format></pre> <p>コンテンツの数量ではない。</p>

	<p><format>pdf</format> MIME メディアタイプで記入する。</p>
	<p><format>workingPaper</format> 資源タイプは「19.type」を使用する。</p>
	<p><format>ii, 38, 5 p. ; 30 cm.</format> 資料形態ではない。</p>

22. その他の資源識別子

要素名	identifier
使用レベル	推奨
繰り返し	0 ~ 無制限
スキーム	—
oai_dc	identifier
説明	<p>コンテンツに関する識別子を記入する。 コンテンツに付与された ID、ISBN や総合目録 DB 以外の書誌 ID などである。</p>
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・当該メタデータの URL は「23.URI」を使用する。 ・ISSN は「25.ISSN」を使用する。 ・総合目録 DB 書誌 ID は「26.NCID」を使用する。
推奨例	<p><identifier>9784860490195</identifier> ISBN を記入。</p> <p><identifier>urn:ISBN:9784860490195</identifier> ISBN を URN スキームを用いて記入。</p>
許容例	<p><identifier>Bulletin of Mathematical Biology 20(3), 727-743. (2004)</identifier> 「25.ISSN」～「32.dateofissued」が適切に記入されていれば、identifier に掲載誌情報を記入してもよい。</p> <p><identifier>http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/dspace/handle/2115/34975</identifier> handle システムの転送先 URL を記入する。</p>
非推奨例	<p><identifier>http://hdl.handle.net/2115/34975</identifier> 当該メタデータの URL は「23.URI」を使用する。</p> <p><identifier>10.1099/ij.s.0.63789-0</identifier> 出版社版 DOI は「37.DOI」を使用する。</p>

23. 資源識別子 URI (アイテム表示画面へのリンク)

要素名	URI
使用レベル	必須
繰り返し	1
スキーム	URI

	http://tools.ietf.org/html/rfc3986
oai_dc	identifier
説明	コンテンツ本体へリンクする画面への URL。当該メタデータを表記した URL である。

24. 本文フルテキストへのリンク

要素名	fullTextURL
使用レベル	あれば必須
繰り返し	0 ～ 無制限
スキーム	URI http://tools.ietf.org/html/rfc3986
oai_dc	identifier
説明	コンテンツ本体の URL。 当該リポジトリ、もしくはリポジトリと同じ運営者により管理されたコンテンツであり、時間的及び地域的制約を加えずに公開されたものである。 コンテンツが複数の URL からなるときは、要素を繰り返してすべての URL を出力する。
注意点	<ul style="list-style-type: none"> 当該メタデータの URL は「23.URI」を使用する。 当該リポジトリに登録されたコンテンツの URL であり、出版社版 URL ではない。
推奨例	<fullTextURL>http://harp.lib.hiroshima-u.ac.jp/bitstream/harp/3932/1/img-312130959.pdf</fullTextURL> コンテンツ本体の URL。
非推奨例	<fullTextURL>http://hdl.handle.net/2115/34975</fullTextURL> 当該メタデータの URL は「23.URI」を使用する。 ----- <fullTextURL>http://ci.nii.ac.jp/naid/110007046248</fullTextURL> 出版社版 URL ではない。「38.isVersionOf」を使用する。

25. ISSN

要素名	issn
使用レベル	あれば必須
繰り返し	0 ～ 無制限
スキーム	℥d{4}℥-?℥d{3}[℥dXx] ([半角数字 4 桁][-(ハイフン)]※あってもなくてもよい)[半角数字 3 桁][半角数字 1 桁 or X or x])
oai_dc	identifier
説明	掲載誌の ISSN (International Standard Serial Number : 国際標準逐次刊行物番号) を記入する。 「-(ハイフン)」は記入しても、しなくてもどちらでもよい。

	オンラインジャーナルに付与された ISSN もここに記入できる。
注意点	・ ISBN は「22.identifier」を使用する。
推奨例	<issn>1345224X</issn> ISSN を記入する。 ----- <issn>1340-6000</issn> <issn>1349-9432</issn> 冊子体版と電子版の両方の ISSN を記入する場合は繰り返して記入する。
非推奨例	<issn>9784783803324</issn> ISBN は「22.identifier」を使用する。

クロスウォーク例	
IR のローカルデータ	junii2 出力データ
例 1) → identifier.issn: 00036862 identifier.eissn: 1347605X	<issn>00036862</issn> <issn>1347605X</issn> ※冊子体版と電子版の両方の ISSN を出力する。

26. 書誌レコード ID (総合目録 DB)

要素名	NCID
使用レベル	あれば必須
繰り返し	0 ~ 無制限
スキーム	NCID http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/
oai_dc	identifier
説明	掲載誌の NCID (国立情報学研究所が運用している目録所在情報サービス(NACSIS-CAT)の、総合目録データベースにおける書誌 ID) を記入する。 冊子体版と電子版両方の NCID が存在する場合は繰り返して複数記入してもよい。
注意点	・ 参照 MARC 等の ID は記入できない。 ・ 全角文字は使用しない。
推奨例	<NCID>AA11971936</NCID> NCID を記入。
非推奨例	<NCID>JP96056983</NCID> NCID 以外の記入はできない。

27. 雑誌名

要素名	jttitle
使用レベル	あれば必須

繰り返し	0 ~ 1
スキーム	—
oai_dc	折りたたみ編集の上、identifier
説明	掲載誌の本タイトルを記入する。 日本語雑誌名で和文、欧文コンテンツが混在する雑誌においては、本文の言語に応じて雑誌名を表記することが望ましいが、並列タイトル表記することも許容する。
注意点	・要素を繰り返すことはできない。
推奨例	<jtitle>臨床病理</jtitle>
許容例	<jtitle>看護総合科学研究会誌 = Journal of Comprehensive Nursing Research</jtitle> 並列タイトルを表記。
非推奨例	<jtitle>臨床病理</jtitle> <jtitle>The Japanese journal of clinical pathology</jtitle> 要素を繰り返すことはできない。

28. 巻

要素名	volume
使用レベル	あれば必須
繰り返し	0 ~ 1
スキーム	—
oai_dc	折りたたみ編集の上、identifier
説明	掲載誌の巻レベルを記入する。(号のみをもつ場合は、巻レベルとし、ここに記入する。) 単位を表す語句(「巻」, 「vol」, 「号」, 「年」など)は削除する。 アラビア数字以外の表記によるものは、アラビア数字に変換する。 巻号と通号の両者が存在する場合は、巻号を採用する。
注意点	・漢数字、ローマ数字は使用しない。 ・要素の繰り返しはできない。
推奨例	<volume>32</volume> 32巻の場合。 ----- <volume>22</volume> 22巻3号と通号267号の両方の記載がある場合。(「29.issue」に「3」を記入)
非推奨例	<volume> 1 3</volume> 全角文字は使用しない。 ----- <volume>四巻</volume> <volume>IV</volume> 字句・単位は記入しない。漢数字やローマ数字は使用しない。

29. 号

要素名	issue
使用レベル	あれば必須
繰り返し	0 ~ 1
スキーム	—
oai_dc	折りたたみ編集の上、identifier
説明	<p>掲載誌の号レベルを記入する。(号のみをもつ場合は、巻レベルとし、「28.volume」に記入する。)</p> <p>単位を表す語句(「号」、「issue」など)は削除する。</p> <p>アラビア数字以外の表記によるものは、アラビア数字に変換する。</p> <p>号レベルより下位のレベルが存在する場合でも(例えば volume3, issue2, part1 等の場合)、その下位レベルについては記入しない。</p>
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢数字, ローマ数字は使用しない。 ・ 要素を繰り返すことはできない。
推奨例	<p><issue>2</issue> ○巻 2 号の場合。</p> <hr/> <p><issue>3-4</issue> 3、4 号合併号の場合。</p>
許容例	<p><issue>3/4</issue> 合併号の区切り記号に「- (ハイフン)」以外を用いる。</p>
非推奨例	<p><issue> 5 </issue> 全角文字は使用しない。</p> <hr/> <p><issue>三号</ issue> <issue>IV</ issue> 字句・単位は記入しない。漢数字やローマ数字は使用しない。</p> <hr/> <p><issue>2(1)</issue> Issue2, part1 の場合、part 部分については記入しない。</p>

30. 開始ページ

要素名	spage
使用レベル	あれば必須
繰り返し	0 ~ 1
スキーム	—
oai_dc	折りたたみ編集の上、identifier
説明	<p>コンテンツの掲載誌中における開始ページを記入する。</p> <p>開始ページと終了ページが同じ場合は、epage にも spage と同様の値を記入する。</p> <p>巻 (volume) の通ページと、号 (issue) ごとのページの両方が存在する場合は、巻 (volume) の通ページを記入する。</p>

	オンラインジャーナルのみの出版等でページ数が存在せず、文献番号で表現されている場合は文献番号を記入する。なお、この場合 epage は空白でよい。 IRDB の仕様により、IRDB にハーベストされる際に半角数字以外は削除される。
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢数字，ローマ数字は使用しない ・ 要素を繰り返すことは出来ない。
推奨例	<pre><spage>28</spage></pre> <p>開始ページが 28 ページ。</p> <hr/> <pre><spage>203504</spage></pre> <p>オンラインジャーナル等でページ数が存在せず、文献番号で表現されている場合。</p> <hr/> <pre><spage>S153</spage></pre> <p>数字以外が含まれていてもそのまま記入する。</p>
非推奨例	<pre><spage> 5 9</spage></pre> <p>全角文字は使用しない。</p> <hr/> <pre><spage>三</spage></pre> <pre><spage>IV</spage></pre> <p>漢数字やローマ数字は使用しない。</p>

31. 終了ページ

要素名	epage
使用レベル	あれば必須
繰り返し	0 ~ 1
スキーム	—
oai_dc	折りたたみ編集の上、 identifier
説明	<p>コンテンツの掲載誌中における終了ページを記入する。</p> <p>開始ページと終了ページが同じ場合は、epage にも spage と同様の値を記入する。</p> <p>巻 (volume) の通ページと、号 (issue) ごとのページの両方が存在する場合は、巻 (volume) の通ページを記入する。</p> <p>IRDB の仕様により、IRDB にハーベストされる際に半角数字以外は削除される。</p>
推奨例	表記方法は「30.spage」に準ずる。

32. 刊行年月

要素名	dateofissued
使用レベル	あれば必須
繰り返し	0 ~ 1
スキーム	ISO-8601 で規定する次の 3 形式 (YYYY-MM-DD, YYYY-MM, YYYY)
oai_dc	“折りたたみ編集の上、 identifier ” と “ date ”
説明	コンテンツの出版日付を ISO-8601 で規定する (YYYY-MM-DD, YYYY-MM, YYYY)

	のいずれかの形式で記入する。
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・月や日において、1桁の場合でも「0」を付けて記入する。 ・出版日付であり年月次ではない。
推奨例	<p><dateofissued>2009-05-25</dateofissued> 年月日がわかっている場合。</p> <hr/> <p><dateofissued>2009-09</dateofissued> 年月がわかっている場合。</p> <hr/> <p><dateofissued>2009</dateofissued> 年のみわかっている場合。</p>
非推奨例	<p><dateofissued>2009-5-9</dateofissued> 月や日において、1桁の場合でも「0」を付けて記入する。</p> <hr/> <p><dateofissued>2009-Oct-28</dateofissued> 規定された3形式以外の記入はしない。</p>

33. 情報源

要素名	source
使用レベル	任意
繰り返し	0 ～ 無制限
スキーム	—
oai_dc	source
説明	<p>コンテンツが印刷資料等から作成された場合、その元となった資料の書誌情報や所蔵情報を記入できる。</p> <p>デジタル資料どうしの関係は「38.isVersionOf」～「49.hasFormat」を使用する。</p>

34. 言語

要素名	language
使用レベル	推奨
繰り返し	0 ～ 無制限
スキーム	<p>ISO-639-2</p> <p>http://www.loc.gov/standards/iso639-2/</p>
oai_dc	language
説明	<p>記入することが望ましい。</p> <p>コンテンツ本文で用いられている言語を ISO-639-2 言語コードで記入する。</p> <p>目録所在情報サービスの言語コード表 (http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/MAN2/CM/furoku1_3.html) を参照。</p> <p>本文で複数の言語が用いられている場合は、要素を繰り返して記入することができる。</p> <p>非言語コンテンツや言語名が不明の場合は、「und」を用いる。</p>

	各 IR 内で使用の統一がとれていれば、ISO-639-1(2 ケタ)の使用も当分の間許容する。
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言語名を記入しない。 ・ 国コードを記入しない。 ・ 1 要素中に複数の言語を繰り返さない。
推奨例	<pre><language>jpn</language></pre> <p>本文が日本語のみで書かれている。</p> <hr/> <pre><language>eng</language></pre> <pre><language>fre</language></pre> <pre><language>ger</language></pre> <p>本文が英語，フランス語，ドイツ語で書かれている。</p> <hr/> <pre><language>und</language></pre> <p>非言語コンテンツ、または使用言語が不明。</p>
許容例	<pre><language>ja</language></pre> <p>ISO-639-1 言語コード 2 ケタで記入</p>
非推奨例	<pre><language>JPN</language></pre> <pre><language> e n g </language></pre> <p>大文字や全角文字を使用しない。</p> <hr/> <pre><language>jpn / eng</language></pre> <p>1 要素に複数の言語を繰り返さない。</p> <hr/> <pre><language>日本語 Japanese</language></pre> <p>言語名を記入しない。</p> <hr/> <pre><language>US</language></pre> <p>国名を記入しない。</p>

35. 他の情報源との関係

要素名	relation
使用レベル	任意
繰り返し	0 ~ 無制限
スキーム	—
oai_dc	relation
説明	<p>コンテンツと関連する情報への参照。</p> <p>URI 等の所定のスキームによって記入することが望ましい。</p> <p>「36.pmid」～「49.hasFormat」に該当するときは、ここに記入しない。</p>

36. PubMed 番号

要素名	pmid
使用レベル	推奨

繰り返し	0 ~ 1
スキーム	URI http://tools.ietf.org/html/rfc3986 PMID http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/
oai_dc	relation
説明	あれば記入することが望ましい。 PubMed 番号を記入する。 「info:pmid/」の URI スキームを用いて記入すること。ただし、当分の間は PubMed 番号のみの出力も許容する。
注意点	・ PubMed 番号以外の識別子を記入しない。
推奨例	<pmid>info:pmid/19038271</pmid> PMID を URI で記入。
許容例	<pmid>19038271</pmid> PMID のみ。
非推奨例	<pmid>http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/1938271</pmid> 「http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/」を付けない。 ----- <pmid>PMID:19451640</pmid> URI スキームを用いる。 ----- <pmid>info:pmid/</pmid> PMID が空欄のときは出力しない。

クロスウォーク例	
IR のローカルデータ	junii2 出力データ
例 1) → relation.pmid: 19038271	<pmid>info:pmid/19038271</pmid> ※先頭に「info:pmid/」を付与して出力

37. DOI

要素名	doi
使用レベル	推奨
繰り返し	0 ~ 1
スキーム	URI http://tools.ietf.org/html/rfc3986 DOI http://www.doi.org/
oai_dc	relation
説明	あれば記入することが望ましい。

	コンテンツの出版社版 DOI であり、コンテンツそのものの DOI ではない。 「info:doi」の URI スキームを用いて記入すること。ただし、当分の間は DOI のみの出力も許容する。
注意点	・ DOI 以外の識別子を記入しない。
推奨例	<doi>info:doi/10.1000/7</doi> DOI を URI で記入。
許容例	<doi>10.1000/7</doi> DOI のみ。
非推奨例	<doi>http://dx.doi.org/10.1000/7</doi> 「http://dx.doi.org/」を付けない。
	<doi>doi:10.1000/7</doi> URI スキームを用いる。
	<doi>info:doi</doi> DOI が空欄のときは出力しない。

クロスウォーク例	
IR のローカルデータ	junii2 出力データ
例 1) → relation.doi: 10.1000/7	<doi>info:doi/10.1000/7</doi> ※先頭に「info:doi」を付与して出力

38. 異版である

要素名	isVersionOf
使用レベル	任意
繰り返し	0 ～ 無制限
スキーム	URI http://tools.ietf.org/html/rfc3986
oai_dc	relation
説明	当該コンテンツに対して、参照先のコンテンツを主たる版とみなすことができる。 ファイル形式の変換ではない。 出版社版 DOI は「37.DOI」を使用する。

39. 異版あり

要素名	hasVersionOf
使用レベル	任意
繰り返し	0 ～ 無制限
スキーム	URI

	http://tools.ietf.org/html/rfc3986
oai_dc	relation
説明	当該コンテンツが参照先のコンテンツを別なる版として持つ。

40. 置換される

要素名	isReplacedBy
使用レベル	任意
繰り返し	0 ～ 無制限
スキーム	URI http://tools.ietf.org/html/rfc3986
oai_dc	relation
説明	当該コンテンツが参照先のコンテンツによって置き換わる。

41. 置換する

要素名	replaces
使用レベル	任意
繰り返し	0 ～ 無制限
スキーム	URI http://tools.ietf.org/html/rfc3986
oai_dc	relation
説明	当該コンテンツが参照先のコンテンツを新しく置き換える。

42. 要件とされる

要素名	isRequiredBy
使用レベル	任意
繰り返し	0 ～ 無制限
スキーム	URI http://tools.ietf.org/html/rfc3986
oai_dc	relation
説明	参照先のコンテンツを利用するにあたり、当該コンテンツを必要とする。

43. 要件とする

要素名	requires
使用レベル	任意
繰り返し	0 ～ 無制限

スキーム	URI http://tools.ietf.org/html/rfc3986
oai_dc	relation
説明	当該コンテンツを利用するにあたり、参照先のコンテンツを必要とする。

44. 部分である

要素名	isPartOf
使用レベル	任意
繰り返し	0 ~ 無制限
スキーム	URI http://tools.ietf.org/html/rfc3986
oai_dc	relation
説明	当該コンテンツが参照先コンテンツの部分となす。

45. 部分を持つ

要素名	hasPart
使用レベル	任意
繰り返し	0 ~ 無制限
スキーム	URI http://tools.ietf.org/html/rfc3986
oai_dc	relation
説明	当該コンテンツが参照先のコンテンツを部分として持つ。

46. 参照される

要素名	isReferencedBy
使用レベル	任意
繰り返し	0 ~ 無制限
スキーム	URI http://tools.ietf.org/html/rfc3986
oai_dc	relation
説明	当該コンテンツが参照先のコンテンツから関連づけられる。

47. 参照する

要素名	references
使用レベル	任意

繰り返し	0 ～ 無制限
スキーム	URI http://tools.ietf.org/html/rfc3986
oai_dc	relation
説明	当該コンテンツが参照先のコンテンツを関連付けている。

48. 別フォーマットである

要素名	isFormatOf
使用レベル	任意
繰り返し	0 ～ 無制限
スキーム	URI http://tools.ietf.org/html/rfc3986
oai_dc	relation
説明	当該コンテンツは参照先のコンテンツの異なるフォーマットである。

49. 別フォーマットあり

要素名	hasFormat
使用レベル	任意
繰り返し	0 ～ 無制限
スキーム	URI http://tools.ietf.org/html/rfc3986
oai_dc	relation
説明	当該コンテンツが参照先のコンテンツに異なるフォーマットを持つ。

50. 範囲

要素名	coverage
使用レベル	任意
繰り返し	0 ～ 無制限
スキーム	—
oai_dc	coverage
説明	コンテンツの内容の空間的または時間的範囲を記入する。 精緻化された「51.spatial」または「53.temporal」を使用するため、通常この要素は使用しない。

51. 空間的範囲

要素名	spatial
使用レベル	任意
繰り返し	0 ～ 無制限
スキーム	—
oai_dc	coverage
説明	コンテンツの内容の空間的（地理的）範囲を記入する。 所定のスキームによって記入することが望ましい。

52. 国立情報学研究所メタデータ主題語彙集（地域）

要素名	NIIspatial
使用レベル	任意
繰り返し	0 ～ 無制限
スキーム	国立情報学研究所メタデータ語彙集（地理語彙集） http://www.nii.ac.jp/metadata/manual/NII-category.pdf
oai_dc	coverage
説明	コンテンツの内容の空間的（地理的）範囲を記入する。 国立情報学研究所メタデータ語彙集（地理語彙集）を用いて記入する。

53. 時間的範囲

要素名	temporal
使用レベル	任意
繰り返し	0 ～ 無制限
スキーム	—
oai_dc	coverage
説明	コンテンツの内容の時間的範囲を記入する。 所定のスキームによって記入することが望ましい。 出版日付「32.dateofissued」やコンテンツの作成日付「18.date」をここに記入しない。

54. 国立情報学研究所メタデータ主題語彙集（時代）

要素名	NIItemporal
使用レベル	任意
繰り返し	0 ～ 無制限
スキーム	国立情報学研究所メタデータ語彙集（時代語彙集） http://www.nii.ac.jp/metadata/manual/NII-category.pdf
oai_dc	coverage

説明	コンテンツの内容の時間的範囲を記入する。 国立情報学研究所メタデータ語彙集（時代語彙集）を用いて記入する。
----	--

55. 権利

要素名	rights
使用レベル	推奨
繰り返し	0 ～ 無制限
スキーム	—
oai_dc	rights
説明	使用することが望ましい。 コンテンツ本体に関する権利規定—コピーライト情報，利用制限等—を記入する。 権利管理に関する情報へのリンクを記入できる。 権利者からの記入の指定がある場合はそれに従う。
注意点	・ 出版社版 DOI は「37.DOI」を使用する。
推奨例	<p><rights>Copyright © 1997 American Physical Society</rights></p> <p>-----</p> <p><rights>日本機械学会</rights></p> <p><rights>本文データは学協会の許諾に基づき CiNii から複製したものである</rights> NII-ELS コンテンツを使用した場合。</p> <p>-----</p> <p><rights>©20xx IEEE. Personal use of this material is permitted. However, permission to reprint/republish this material for advertising or promotional purposes or for creating new collective works for resale or redistribution to servers or lists, or to reuse any copyrighted component of this work in other works must be obtained from the IEEE.</rights></p> <p>権利者からの指定例。</p> <p>-----</p> <p><rights>http://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/2.1/jp/</rights></p> <p>クリエイティブ・コモンズへのリンク。</p>
非推奨例	<p><rights>info/doi:10.1241/johokanri.52.276</rights></p> <p>DOI は「37.DOI」を使用する。</p>

56. 著者版フラグ

要素名	textversion
使用レベル	推奨 NIItype が Journal Article, Departmental Bulletin Paper, Article の場合 AIRway で使用するため、特に入力を推奨する
繰り返し	0 ～ 1
スキーム	author publisher none
oai_dc	—

説明	<p>コンテンツ本体のバージョンを記入する。</p> <p>[コンテンツを保持している場合]</p> <ul style="list-style-type: none">・セルフアーカイブされた著作物の著者稿は「author」を記入する。・コンテンツがタイトルで示される著作物本体でない場合（学位論文要旨など）は「none」を記入する。・上記以外は「publisher」を記入する。 <p>[コンテンツがない場合（メタデータのみの場合）]</p> <p>「none」を記入する。</p>
----	---

付属書

国立情報学研究所メタデータ主題語彙集（資源タイプ）

項目	内 容	
Journal Article	学術雑誌論文	学術雑誌に掲載された論文
Thesis or Dissertation	学位論文	博士論文、修士論文等 授与年度、論文／課程、学位の種別等は必要に応じて Description に記入する。
Departmental Bulletin Paper	紀要論文	紀要類に掲載された論文 表紙や目次は Others とする。
Conference Paper	会議発表論文	会議の報告書等に掲載された論文 会議名、開催地、日時等は必要に応じて Description に記入する。
Presentation	会議発表用資料	会議で発表されたプレゼンテーション資料、ポスター、口頭発表資料等 会議名、開催地、日時等は必要に応じて Description に記入する。
Book	図書	図書の章(Chapter)も含む。
Technical Report	テクニカルレポート	テクニカルレポート、ディスカッションペーパー、ワーキングペーパー等の機関発行の報告書
Research Paper	研究報告書	科研費や COE 等、研究助成金による研究成果の報告書 種別（助成元、研究課題の種類）等は必要に応じて Description に記入する。
Article	一般雑誌記事	学術論文以外の記事（コラム等）
Preprint	プレプリント	プレプリント
Learning Material	教材	授業等で用いる資料類
Data or Dataset	データ・データベース	実験記録等のファクトデータ、及びそれらの集合からなるデータベース等
Software	ソフトウェア	ソフトウェア
Others	その他	上記以外のもの 紀要等の表紙や目次は Others とする。

検討メンバー

杉山 智章	静岡大学附属図書館 学術情報部 図書館チームスタッフ（電子情報担当）
野中 雄司	北海道大学附属図書館学術システム課事務職員（システム管理担当）
武内 八重子	千葉大学情報部学術情報課図書系職員